



少し前になりますが、大分県宇佐市にある『宇佐神宮』に行ってきました。国宝や重要文化財などの建造物が多く、年間で約150万人が訪れているそうです。全国約11万社の神社のうち、八幡宮が最も多く、約4万600社あるそうです。宇佐神宮は全国4万社余りある八幡宮の総本宮だそうです。皇室も伊勢神宮につぐ第二の宗廟として御崇敬になり、我々一般の人たちにも鎮守の神として古来より広く親しまれてきたそうです。

御祭神である八幡大神は応神天皇のご神霊で、571年に初めて宇佐の地にご示顕になりました。応神天皇は大陸の文化と産業を輸入し、新しい国づくりをされたと言われています。そして、725年に現在の地に御殿を造立し、八幡神をお祀りされました。これが宇佐神宮の創建だそうです。神輿発祥の地としても知られています。

これまでいろいろな神社に行きましたが、印象としても参道がとにかく広く長かったです。参道の途中に右上写真の大分県指定有形文化財である『宇佐参宮線26号蒸気機関車』が展示してありました。この機関車は、明治27年に九州鉄道(株)(国鉄の前身)が購入し活躍していましたが、昭和23年に機関車の大型化が進み、大分交通(株)に譲渡後、宇佐参宮線の主役になり、宇佐参宮線は大正5年3月に開業し、昭和40年8月に廃止されたそうです。

目指すは神宮内の上宮です。歩けど歩けど、なかなか辿り着けません。神宮内には足が不自由な方向けにモノレールがあるくらいです。息も上がってきたところでやっと到着しました。そこに広がってきた光景はさすが日本三大八幡宮の一つだけあり、その建物の朱塗り色彩と凛とした雰囲気はあまり経験したことがないものでした。上宮参拝後は下ったところに下宮にも参拝しました。前から行きたいと思っていたので、とても有難い時間となりました。

